



3年2組  
加藤純子さん

# 旅片情雲

中三  
加藤純子

※「片」のバランスがとりにくかったです。全体的なバランスにも注意して書きました。



2年2組  
越川木綿子さん

# 歌教室 声教室

中一年  
越川木綿子

※「教」の形をとるのが難しく苦労しました。字のバランスを考えて書きました。

あつまれみんなの力作

# 錬磨

中三  
小林香津美



3年3組  
小林香津美さん

※「磨」が難しく苦労しました。「錬」とのバランスはとれたと思います。

# 試練

伊藤利一



3年1組  
伊藤利一君

※はらいやはねの筆使いが力強くよかったです。



3年4組  
林順子さん

# 昇旭 林天日

中三  
林順子

※「旭」の2画目と「昇」のはらいにてても苦労しました。



3年1組  
菱木彩乃さん

# 初志

中三  
菱木彩乃

※私の希望をこの文字に託して書きました。



長谷川金治 (作間内)  
心むくままに歌はむ九十九路の潮騒乗せて  
天駆ける風

九十九路の淨らかな風に吹かれ  
つゝ歌作に精進さるる意気込みが  
爽やかに感じられます。

半ば朽ち更に競いる藤古木  
家持憂でし藤波の杜

鈴木甲子幸 (白磯)

由緒ある藤の古木を眼前にして  
生命力への感動が美しいリズムを  
奏でました。

台風の近づく夜更け九十九里の

伊藤 鏡子 (虫生)

海なり強く闇をふるはす

台風の接近に微妙に心の冴える  
作者の表情。

土屋 好 (虫生)

掘り起す土くろ黒き畑へ来て歩く  
小鳥のほつほつ漁る

作者の行き届いた優しい視線が  
下句に活かされました。

評  
竹内 紀葉